



にしきの つうしん 錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和7年9月24日(水)

さいたま市立馬宮中学校

令和7年度 第6号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

実りの季節

校長 衛 藤 伸 介
え とう しん すけ

日暮れの時刻が早まるとともに、朝夕の空気からは、ようやくひんやりとした心地よい風が感じられるようになってきました。特に夕刻になると校庭から様々な秋虫の音がよく聞こえ、季節の移ろいを感じます。そのような中、長かった夏の日々を乗り越えた生徒たちは、心身ともに一回り成長した姿で日々の学校生活に真剣に取り組んでいます。

時の過ぎ去るのは早いもので、令和7年度の教育活動もまもなく折り返しの時期を迎えようとしています。学校では3年生が本格的な進路選択の時期へと突入し、様々な活動が1・2年生へと引き継がれてきております。先日は生徒会本部役員選挙が行われ、新たな本部役員とともに生徒会組織がスタートすることとなりました。また、部活動では最後まで3年生が活動をしていた吹奏楽部が、新潟県で開催された西関東大会で正に有終の美と呼ぶにふさわしい見事な演奏で締めくくり、引退することとなりました。今現在は、運動部の新人体育大会や学校を代表して3年生も参加している市内駅伝大会等に向けて、新たな馬宮中学校の伝統を築こうと1・2年生も懸命に頑張っている様子が伝わってきます。

さて、まもなく秋本番とも言える10月を迎えますが、秋は、「実りの秋」「学びの秋」とも言われるように、学習面でも一層の充実が求められる時期となります。進路実現に向けた3年生はもちろんのこと、1・2年生にとりましても2学期の中盤に差し掛かり、授業内容もより高度になっていきます。定期テストや各教科の課題に真剣に向き合い、学んだ内容の理解を深めるとともに、目標に向かって努力を重ねる姿勢が大切です。学力の向上はもちろんのこと、学びに向かう姿勢や粘り強さ、計画性といった「学ぶ力」そのものを育てることが、これからの社会を生き抜く力につながっていきます。

また、10月は合唱コンクールのような表現活動に力を入れる行事もあります。生徒たちは、日々の練習や準備を通して、仲間と協力しながら一つの作品を創り上げる喜びを味わっています。曲をイメージしながら自分たちの思いを形にし、他者に伝える経験は、自己肯定感や達成感、またコミュニケーション力を育む上でも大切な機会となります。是非、10月23日の発表会当日は、舞台の上で輝く生徒たちの姿を保護者の方々にも御覧いただきたいと思います。

最後になりますが、季節の変わり目ということで体調を崩しやすい時期でもあります。どうか御家庭でも健康管理に十分御留意いただき、生徒たちが元気に学校生活を送れるよう御配慮いただければ幸いです。